

## 展示会で手応え

7月1-3日、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催された「インターフエックスジャパン」。二九精密機械工業のブースは昨年の約2倍の来場者でにぎわった。

今年同社は、展示会場で放映するためのオリジナル動画を制作。ハリウッドの某サイボーグ映画をモチーフにした内容で、来場者の

足を止めることに成功した。ブースの壁には京都企業らしく竹模様をあしらったところ、「ブースだけを見に来る来場者もいた」と、社長の二九良三は笑う。

展示会が終わった翌週の月曜、自信を持つ技術「Bチタンパイプ」を中心に、引き合いの電話が早速かかって来た。アクセサリーメーカーや文房具メーカーなど幅広い業界から商談が舞い込み、良三は手応えを感じた。

## 産学共同

同社は6月に京都大学桂キャンパス（京都市西京

## 宇宙・深海・体内で活躍



昨年の約2倍の来場者でにぎわった「インターフエックスジャパン」の同社ブース

進む。代々、二九家出身者が経営してきた同社だが、「後継者は二九家にこだわらない」と、良三と会長二九宏和は声をそろえる。その証に、役員に占める二九家出身者の数を減らしている。独自技術を持つ強い会社になろうと努力している

▲……………  
確立を目指す。  
2010年3月には本社社屋を京都市南区内で新築移転する計画だ。

「昔はトラックで営業していたのが、ライトバンから乗用車、アタッシュケースと、製品が小型化してきた」と、宏和は振り返る。また良三は「うちが加工した部品を載せた製品が、深海や宇宙、もしくは体内で活躍している」と、力を込める。独自技術をキーワードに、世の中で役立つモノづくりを続ける。（敬称略）

## 投資チャンス

「不況こそ投資のチャンス」と良三は言い切る。不況時に設備を購入すれば価格を抑えられるし、納期も短くて済む。これまでも不況時に投資を行い、チャ

「昔はトランクで営業していたのが、ライトバンから乗用車、アタッシュケースと、製品が小型化してきた」と、宏和は振り返る。また良三は「うちが加工した部品を載せた製品が、深海や宇宙、もしくは体内で活躍している」と、力を込める。独自技術をキーワードに、世の中で役立つモノづくりを続ける。（敬称略）

区にあるインキュベーション施設「京大桂ベンチャープラザ」へ入居した。京

一方で旧本社社屋を医療機器向けユニットの組立工場にする構想を持つなど、年末からの景気後退ももちろん売上高に影響がなかったわけではないが、強化したい事業分野が見えているため、それに向かって突き

都大学の教授と、医療機器パーツの研究開発の方向性が合っていたため入居を決めた。大学の研究室の多様な機械設備を利用しながら、より高度な加工技術の

す、そこから一歩踏み込んだ

つ勝  
中小企業のものごと

## 微細加工で社会に貢献

路甲子が担当しました